

# DAIBIRU CORPORATION



2015年度

第**144**期

## 報告書

2015年4月1日から  
2016年3月31日まで

### INDEX

株主の皆様へ	1
TOPICS	3
主要所有ビル	7
連結財務ハイライト	9
連結セグメント情報	10
連結財務諸表(概要)	11
会社概要・役員	13
株式情報	14

コーナーストーン・ビルディング



代表取締役社長執行役員

玉井克実

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第144期(2015年4月1日から2016年3月31日まで)の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

### 2016年3月期の業績

当期のわが国経済は、新興国経済が減速する中、年度後半には円高と株価下落が進み、一部にやや弱い動きも見られましたが、各種政策を背景とした企業収益や雇用情勢の改善等により、全体としては緩やかな回復基調で推移いたしました。

オフィスビル業界におきましては、東京・大阪各ビジネス地区の空室率は全体として引き続き改善傾向で推移し、東京では小幅ながら賃料水準の上昇傾向が継続するなど、回復の動きが続いております。

こうした状況の下で、当社グループは積極的な営業活動を展開する一方、競合ビルとの差別化を目指し、ビル管理品質向上活動を推進するなど「ダイビルならでは」のテナントサービスに努めました結果、全体として高水準の入居状況を確保することができました。

中期経営計画「**Design 100**」プロジェクト Phase-Iでは重点投資分野として、「新ダイビル」建替えプロジェクトの完遂、ベトナムにおける高品質オフィスビルの開発、東京都心3区を中心とした優良なアセットへの投資およびリニューアル投資による既存ビルの競争力強化を掲げております。「新ダイビル」は初年度から高稼働し、商業ゾーンでは大阪を代表する名店の集積が注目を集めております。「コーナーストー

## 経営理念

### ビルを造り、街を創り、時代を拓く

私たちダイビルグループは、ビル造りを通じ、豊かさ溢れるオフィス空間と、賑わいのある街を創り、常に時代の声に耳を傾けながら、新しい時代を切り拓いていきます。

## ミッションステートメント

### 1 顧客の信頼と愛着を勝ち得るオフィス空間と環境を提供します。

顧客の信頼と愛着は当社グループビル賃貸・管理事業の根幹であり、当社グループの財産です。

ン・ビルディング」はベトナムの首都ハノイ市中心部に位置しており、前期に取得後、テナント誘致が順調に進みました。「日比谷ダイビル」のリニューアル工事は、計画通り順調に進捗しております。

また、当社はグループ一体となって「ダイビル」ブランドの高品質オフィスを運営しております。そのノウハウを外部のビルオーナー様に提供することを目的として、昨年7月にグループ会社の商船三井興産株式会社に「ビル運営(PM)\*事業推進室」を新設いたしました。

\*PM…プロパティ・マネジメント。不動産の所有者等から委託を受けて、日常的に不動産の運営管理実務(建物管理、テナント誘致、契約管理)を行う業務。

以上の結果、当期の業績につきましては、営業収益は37,344百万円と1,571百万円(前期比4.4%)の増収、営業利益は9,114百万円と333百万円(前期比3.5%)の減益となりました。営業外損益では、受取配当金の増加およびその他の営業外費用の減少がありましたが、為替差損が増加し、経常利益は7,985百万円と264百万円(前期比3.2%)の減益となりました。

特別損益につきましては、前期に特別利益として投資有価証券売却益および違約金収入計1,563百万円を計上したのに対して、当期は投資有価証券売却益125百万円を計上いたしました。また、特別損失として、前期は建替関連損失および固定資産除却損等計1,640百万円を計上したのに対して、当期は固定資産除却損等計46百万円を計上いたしました。

この結果、親会社株主に帰属する当期純利益は5,276百万円と110百万円(前期比2.1%)の増益となりました。

当期の1株当たり期末配当は、従来の公表どおり7円といたしました。この結果、年間の1株当たり配当は、中間配当7円とあわせ、14円(前期に比べ1円増配)となりました。

## 今後の取り組みについて

今後のわが国経済は、企業収益の改善や雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかに回復していくことが期待される一方、新興国を中心とした海外景気の下振れが懸念されるなど、先行き不透明な状況も予想されます。

オフィスビル業界におきましては、マーケットの需給改善が緩やかに進むものの、マーケット全体への波及には時間を要すると予想されます。

当社グループといたしましては、今後とも長期的に均衡の取れた拡大発展を目指し、引き続き東京、大阪の都心部を中心にオフィスビルの開発、所有および運営管理を根幹とするビジネスモデルの維持・強化を推進してまいります。

当面の重要課題として、東京都心3区を中心とした優良アセットへの新規投資をより推進いたします。本年4月には不動産開発室を新設し、専任の人材を配置いたしました。ベトナムにおきましては、当社ビジネスモデルに沿った高品質オフィスビルの開発を鋭意進めてまいります。ビル総合管理事業につきましても強化・充実を推し進め、グループ総合力の一層の拡大を図ります。

なにとぞ株主各位におかれましては、今後とも引き続き一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2016年6月

## グループメッセージ

私たちダイビルグループは、  
グループ総力をあげて、  
快適で安心・安全な空間と  
環境を提供していきます。

## 2 顧客とともに企業価値を高めます。

顧客の発展は、すなわち当社グループの企業価値の向上です。

顧客の声に耳を傾け、日々変化するニーズを的確に汲み取り、社会の要請に応えます。

## 3 美しい都市景観と品格ある空間を創出します。

洗練された品格ある都市景観の創出には、それにふさわしい顧客集積が必要です。

# 中期経営計画

“**Design 100**”プロジェクト Phase-I (2013～2017)  
 “**Daibiru Excellence**”  
 towards  
**Sustainable, Innovative & Global Next 100 (Century)**

利益水準、投資計画は、おおよそ計画通り進捗

## 利益水準

(単位:億円)

	2014年3月期		2015年3月期		2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	業績予想	計画	見込
営業収益	355	356	365	357	385	373	400	390	420	400
営業利益	99	100	92	94	97	91	110	100	130	110
経常利益	86	87	74	82	80	80	95	90	105	100
親会社株主に帰属する 当期純利益	51	56	40	51	50	53	60	60	65	65
EBITDA*	165	167	160	160	180	173	190	170	215	190
営業CF	130	130	105	115	150	145	160	130	160	150
D/ELシオ	1.1倍	1.1倍	1.2倍	1.1倍	1.1倍	1.1倍	1.0倍	1.0倍	0.9倍	0.9倍

\*EBITDA: 経常利益+支払利息+減価償却費

## 投資計画

投資額

[当初計画]

600億円

投資額

[進捗状況]

既投資額 約450億円

投資予定額 約150億円

\*利益水準および投資計画には、総投資予定額1,000億円の内、東京都心3区400億円規模は含んでおりません。

## 中期経営計画アクションプラン

[当初計画]

# 重点投資分野 … 5年間 1,000億円

### 事業基盤強化のための ポートフォリオ拡大

- 国内**
- 東京都心3区を中心とした優良なアセットへの投資 (400億円規模)
  - 高齢者向け住宅分野でのアセット拡大 (総額80億円)
- 海外**
- ベトナムにおける高品質オフィスビルの開発 (総額160億円)

### 保有アセットの競争力強化/ 環境性能改善・BCPのための投資

- 新ダイビル建替えプロジェクトの完遂 (280億円)
- リニューアル投資による既存ビルの競争力強化 (5棟100億円規模)

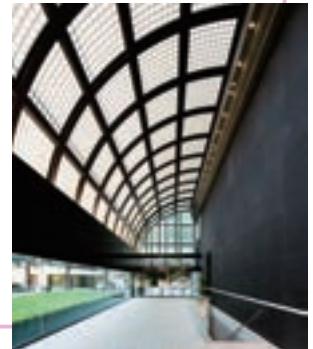
[進捗状況]

### 事業基盤強化のための ポートフォリオ拡大

- 1 2016年4月に新組織「不動産開発室」設置  
東京都心3区を中心とした優良アセットへの新規投資をより推進させるべく新設しました。
- 2 秋葉原ダイビル隣地 計522㎡取得  
2016年3月に追加取得。秋葉原ダイビル隣地の取得により、保有資産の長期的なバリューアップを図ります。
- 3 2014年2月にアリア恵比寿南を取得(13億円)  
高齢者向け住宅分野で当社3棟目。
- 4 ベトナムにおける高品質オフィスビルの取得・開発  
(コーナーストーン・ビルディング取得に約100億円)  
サイゴンタワー(ホーチミン) 満室稼働時売上 約7億円  
コーナーストーン・ビルディング(ハノイ) 満室稼働時売上 約12億円

### 保有アセットの競争力強化/ 環境性能改善・BCPのための投資

- 1 新ダイビル建替えプロジェクトの完遂  
(約280億円)  
2015年3月竣工。主なテナントとして、日立製作所様、丸紅様等が入居されています。
- 2 リニューアル投資  
による既存ビルの  
競争力強化(64億円)  
日比谷ダイビルのリ  
ニューアル工事は、計画  
通り順調に進行してお  
り、2016年6月末完工  
予定です。



日比谷ダイビル エントランス

新設

## 優良アセットへの新規投資をより推進 不動産開発室を新設

2013～2017年度を期間とする中期経営計画「**Design 100**」プロジェクト Phase-I] の実現に向け、本年4月に新組織「不動産開発室」を設置いたしました。

これまで東京および大阪の各営業開発部が行ってきた「国内不動産の取得・開発」業務を「不動産開発室」に集約し、また専任の人材を配置することで、より迅速かつ効率的な業務の遂行を目指します。これにより、当社が重点ターゲットとする東京都心3区を中心とした優良アセットへの新規投資をより推進させます。

組織図



新設

## ダイビルグループのビル運営の ノウハウを外部ビルオーナー様へ 商船三井興産(株)に ビル運営(PM)事業推進室を新設

この度、ダイビルグループが培ってきた高品質なビル運営のノウハウを外部のビルオーナー様に提供することを目的とし、昨年7月に当社のグループ会社である商船三井興産(株)に「ビル運営(PM)\*事業推進室」を新設いたしました。ダイビルグループ各社の力を集結し、新規テナント誘致や老朽化ビルの建替のコンサルティングなど、ビル運営に関する全てについて、ビルオーナー様をサポートしてまいります。

※PM…プロパティ・マネジメント。不動産の所有者等から委託を受けて、日常的に不動産の運営管理実務（建物管理、テナント誘致、契約管理）を行う業務。

### 商船三井興産(株)概要

設立年	1977年(昭和52年)
資本金	300百万円
株主	ダイビル(株)(51%)、(株)商船三井(49%)
売上高	10,438百万円(連結、2016年3月期)
事業内容	ビル管理事業、施設運営管理事業、 食事提供事業、建築工事業、不動産業、 保険代理店業

## ■ 御堂筋ダイビルガイドツアー



御堂筋ダイビルの地下から屋上までの見学ツアーを実施しました。

## ■ ダイビル本館ガイドツアー



整理券がすぐになくなるほどの大盛況でした。

## ■ 建築定点観測写真展@ダイビル本館



ダイビル本館の昔と今の姿をパネル写真で紹介。テナント様に昔のダイビルの姿を知っていただく良い機会になりました。



# ダイビル本館、御堂筋ダイビルも会場に 生きた建築 ミュージアムフェスティバル 大阪2015に協力

イベント

2015年10月31日、11月1日の両日、大阪市が主催する生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2015が開催されました。「オープンハウスロンドン」に代表される、一般市民に建築物を無料で開放し、建築物を身近に感じてもらうためのイベントで、国内では最大規模です。

当社は、「生きた建築ミュージアム・大阪セレクション」に選出されているダイビル本館と御堂筋ダイビルにおいて、3つのプログラムを実施いたしました。普段入ることができない建築物を見学できる貴重な機会であり、多くの方々が訪れ賑わいをみせました。

## 主要所有ビル

ダイビル本館



大阪市北区中之島3-6-32  
地上22階・地下2階  
延床面積／48,198m<sup>2</sup>  
2013年2月竣工

中之島ダイビル



大阪市北区中之島3-3-23  
地上35階・地下2階  
延床面積／79,543m<sup>2</sup>  
2009年3月竣工

新ダイビル



大阪市北区堂島浜1-2-1  
地上31階・地下2階  
延床面積／77,388m<sup>2</sup>  
2015年3月竣工

堂島ダイビル  
(ANAクラウンプラザホテル大阪)



大阪市北区堂島浜1-3-1  
地上23階・地下3階  
延床面積／44,770m<sup>2</sup>  
1984年9月竣工

梅田ダイビル



大阪市北区梅田3-3-10  
地上23階・地下3階  
延床面積／42,363m<sup>2</sup>  
2000年5月竣工

土佐堀ダイビル



大阪市西区土佐堀2-2-4  
地上17階・地下1階  
延床面積／37,497m<sup>2</sup>  
2009年7月竣工

## 大阪エリア

# OSAKA AREA

御堂筋ダイビル



大阪市中央区南久宝寺町4-1-2  
地上8階・地下3階  
延床面積／13,399m<sup>2</sup>  
1964年9月竣工

淀屋橋ダイビル



大阪市中央区高麗橋4-4-9  
地上14階・地下2階  
延床面積／11,273m<sup>2</sup>  
1997年2月竣工

淡路町ダイビル



大阪市中央区淡路町3-1-9  
地上8階・地下1階  
延床面積／10,344m<sup>2</sup>  
1986年5月竣工

堂北ダイビル



大阪市北区堂島1-2-5  
地上7階・地下1階  
延床面積／4,283m<sup>2</sup>  
1986年3月竣工

北梅田ダイビル



大阪市北区中津1-5-22  
地上8階・地下1階  
延床面積／4,185m<sup>2</sup>  
1997年1月竣工

エステート土佐堀



大阪市西区土佐堀2-2-17  
地上5階・地下1階  
延床面積／5,635m<sup>2</sup>  
1997年10月竣工

日比谷ダイビル



東京都千代田区内幸町1-2-2  
地上21階・地下3階  
延床面積 / 29,961m<sup>2</sup>  
(I期) 1989年10月竣工  
(II期) 1991年11月竣工

秋葉原ダイビル



東京都千代田区外神田1-18-13  
地上31階・地下2階  
延床面積 / 50,290m<sup>2</sup>  
2005年3月竣工

商船三井ビルディング  
(虎ノ門ダイビル)

東京都港区虎ノ門2-1-1  
地上16階・地下3階  
延床面積 / 34,655m<sup>2</sup>  
1979年11月竣工

八重洲ダイビル



東京都中央区京橋1-1-1  
地上9階・地下5階  
延床面積 / 26,723m<sup>2</sup>  
1968年6月竣工

青山ライズスクエア



東京都港区南青山5-1-22  
地上16階・地下2階  
延床面積 / 25,011m<sup>2</sup>  
2003年4月竣工

麹町ダイビル



東京都千代田区麹町5-7-1  
地上7階・地下2階  
延床面積 / 11,610m<sup>2</sup>  
1976年9月竣工

# TOKYO AREA

東京エリア

新宿ダイビル(新宿アルタ)



東京都新宿区新宿3-24-3  
地上8階・地下3階  
延床面積 / 11,255m<sup>2</sup>  
1980年4月竣工

芝ダイビル



東京都港区芝5-21-6  
地上10階・地下1階  
延床面積 / 10,833m<sup>2</sup>  
1989年6月竣工

内幸町ダイビル



東京都千代田区内幸町1-3-3  
地上9階・地下2階  
延床面積 / 10,122m<sup>2</sup>  
1983年1月竣工

三田日東ダイビル



東京都港区三田3-11-36  
地上8階・地下1階  
延床面積 / 10,008m<sup>2</sup>  
1986年9月竣工

秋葉原ダイビル・駅前プラザ



東京都千代田区外神田1-18-18  
地上9階・地下1階  
延床面積 / 3,201m<sup>2</sup>  
2005年3月竣工

エステート芝



東京都港区芝5-17-2  
地上5階  
延床面積 / 499m<sup>2</sup>  
1987年12月竣工

ベトナムエリア  
VIETNAM AREA



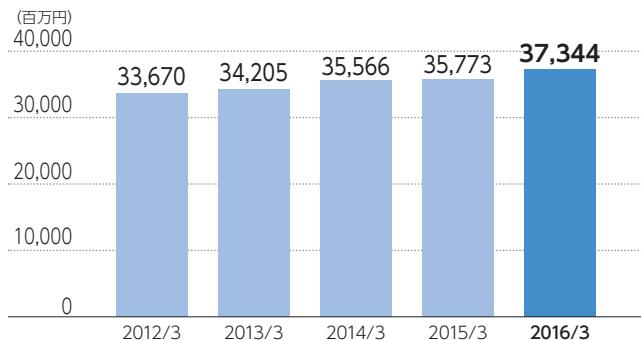
16 Phan Chu Trinh Street,  
Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam  
地上14階・地下3階  
延床面積 / 48,494m<sup>2</sup>  
2013年6月竣工

サイゴン・タワー

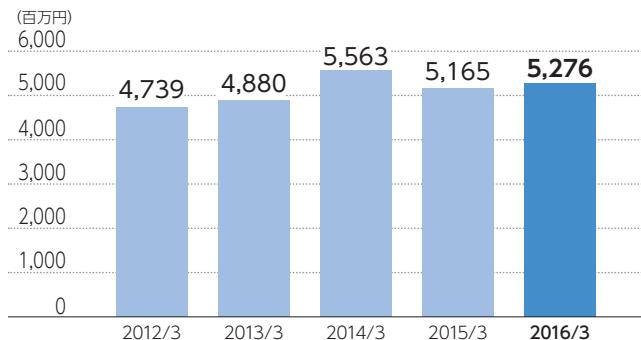


29 Le Duan Boulevard,  
District 1, Ho Chi Minh City,  
Vietnam  
地上18階・地下2階  
延床面積 / 17,986m<sup>2</sup>  
1996年12月竣工

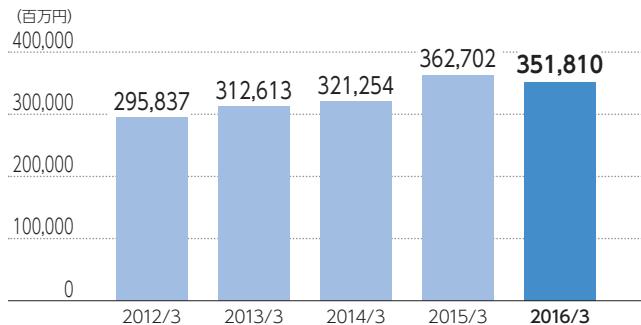
営業収益



親会社株主に帰属する当期純利益

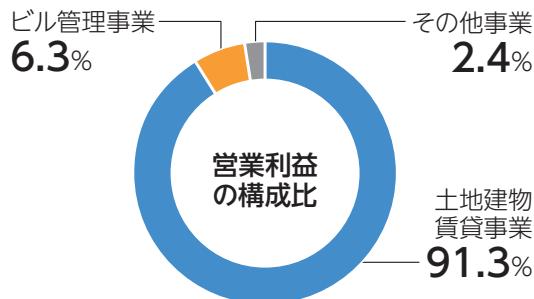
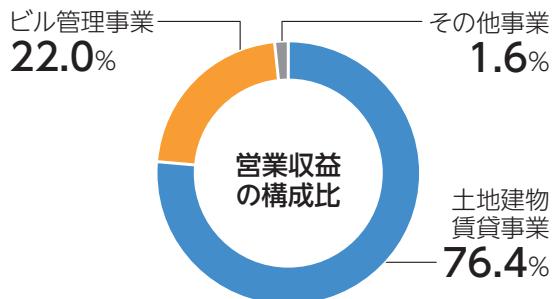


総資産



# 連結セグメント情報

■ 2015年4月1日から2016年3月31日まで



## 土地建物賃貸事業

営業収益  
(前期比)  
**28,551**百万円  
(+5.3%)

営業利益  
(前期比)  
**9,554**百万円  
(▲3.4%)

営業収益は新規物件の通期寄与等により増収、営業利益は減価償却費や管理費の増加等により減益。

## ビル管理事業

**8,197**百万円  
(▲0.4%)

**663**百万円  
(+3.0%)

営業収益は減収となった一方、営業利益は増益。

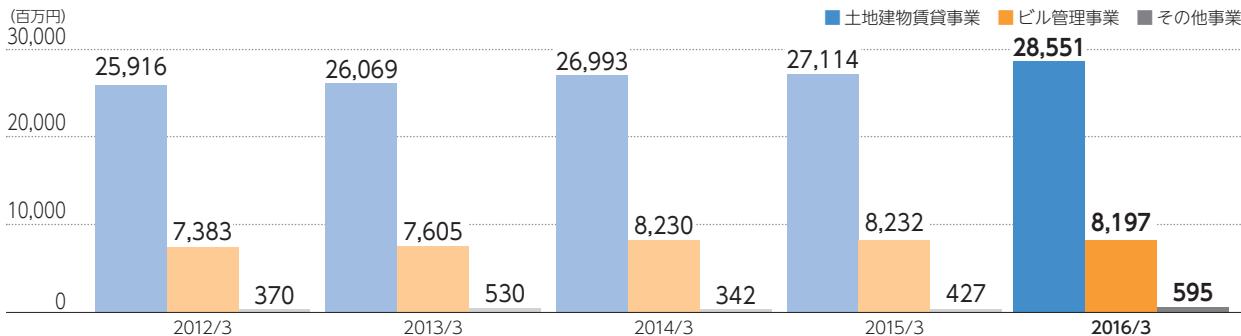
## その他事業

**595**百万円  
(+39.6%)

**245**百万円  
(+47.9%)

テナント入居に伴う工事管理料および工事請負高が増加し増収、営業利益についても増益。

## ■ 営業収益の推移



※ 営業収益：外部顧客に対する営業収益 営業利益：各セグメントに配分していない全社費用等を控除する前の営業利益

# 連結財務諸表(概要)

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当連結会計年度 2016年3月31日	前連結会計年度 2015年3月31日		当連結会計年度 2016年3月31日	前連結会計年度 2015年3月31日
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>8,082</b>	<b>10,785</b>	<b>流動負債</b>	<b>31,041</b>	<b>30,711</b>
現金及び預金	6,230	7,913	1年内返済予定の長期借入金	7,770	7,120
営業未収入金	960	964	1年内償還予定の社債	15,000	—
たな卸資産	57	48	コマーシャル・ペーパー	—	5,500
繰延税金資産	195	398	未払法人税等	898	1,472
その他	645	1,468	未払消費税等	1,361	223
貸倒引当金	△7	△7	役員賞与引当金	41	39
<b>固定資産</b>	<b>343,728</b>	<b>351,917</b>	<b>3</b> その他	<b>5,969</b>	<b>16,356</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>306,011</b>	<b>310,178</b>	<b>固定負債</b>	<b>176,483</b>	<b>189,846</b>
<b>1</b> 建物及び構築物(純額)	<b>117,146</b>	<b>122,025</b>	社債	70,000	85,000
土地	157,071	156,347	長期借入金	64,672	60,848
信託土地	31,231	31,231	受入敷金保証金	25,273	26,000
建設仮勘定	56	12	繰延税金負債	7,134	8,242
その他(純額)	505	561	再評価に係る繰延税金負債	8,024	8,451
<b>無形固定資産</b>	<b>16,577</b>	<b>17,345</b>	役員退職慰労引当金	53	259
のれん	2,335	2,522	退職給付に係る負債	772	796
その他	14,241	14,823	その他	552	246
<b>投資その他の資産</b>	<b>21,139</b>	<b>24,393</b>	<b>負債合計</b>	<b>207,524</b>	<b>220,558</b>
<b>2</b> 投資有価証券	<b>18,870</b>	<b>21,869</b>	<b>純資産の部</b>		
繰延税金資産	104	236	<b>株主資本</b>	<b>118,287</b>	<b>114,645</b>
その他	2,195	2,321	資本金	12,227	12,227
貸倒引当金	△31	△34	資本剰余金	13,852	13,852
<b>資産合計</b>	<b>351,810</b>	<b>362,702</b>	利益剰余金	92,353	88,709
			自己株式	△146	△144
			<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>24,479</b>	<b>26,096</b>
			その他有価証券評価差額金	9,119	10,937
			繰延ヘッジ損益	△26	46
			土地再評価差額金	12,193	11,765
			為替換算調整勘定	3,193	3,347
			<b>非支配株主持分</b>	<b>1,518</b>	<b>1,402</b>
			<b>純資産合計</b>	<b>144,286</b>	<b>142,144</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>351,810</b>	<b>362,702</b>

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	当連結会計年度 2015年4月1日から 2016年3月31日まで	前連結会計年度 2014年4月1日から 2015年3月31日まで
<b>4 営業収益</b>	<b>37,344</b>	<b>35,773</b>
営業原価	24,940	23,259
<b>営業総利益</b>	<b>12,404</b>	<b>12,514</b>
販売費及び一般管理費	3,290	3,066
<b>5 営業利益</b>	<b>9,114</b>	<b>9,447</b>
営業外収益	587	487
受取利息	55	38
受取配当金	495	411
その他	37	38
営業外費用	1,715	1,684
支払利息	1,497	1,505
その他	218	178
<b>5 経常利益</b>	<b>7,985</b>	<b>8,250</b>
特別利益	125	1,563
特別損失	46	1,640
建替関連損失	—	1,588
固定資産除却損	16	32
その他	30	19
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>8,064</b>	<b>8,173</b>
法人税等合計	2,671	2,900
法人税、住民税及び事業税	2,233	2,879
法人税等調整額	437	21
<b>当期純利益</b>	<b>5,393</b>	<b>5,272</b>
非支配株主に帰属する当期純利益	116	107
<b>6 親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>5,276</b>	<b>5,165</b>

POINT  
1**建物及び構築物(純額)**

減価償却等により建物及び構築物(純額)が4,878百万円減少。

POINT  
2**投資有価証券**

株式市場の下落等に伴い投資有価証券が2,998百万円減少。

POINT  
3**その他の流動負債**

前連結会計年度末に未払計上した「新ダイビル」新築工事代金の支払い等により、その他の流動負債が10,386百万円減少。

POINT  
4**営業収益**

「新ダイビル」および「コーナーストーン・ビルディング」の通期寄与等により、営業収益は前連結会計年度比4.4%の増収。

POINT  
5**営業利益および経常利益**

「新ダイビル」の減価償却費および管理費の発生等により、営業利益および経常利益は減益。

POINT  
6**親会社株主に帰属する当期純利益**

法定実効税率の低下の影響等により、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度比2.1%の増益。

# 会社概要・役員

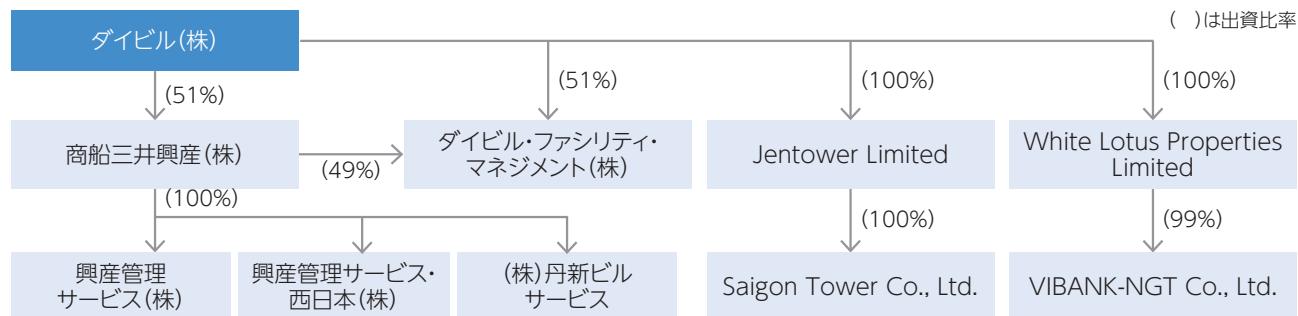
## 会社概要 (2016年3月31日現在)

商号	ダイビル株式会社 (DAIBIRU CORPORATION)
設立	1923年10月15日
資本金	12,227百万円
主な事業内容	不動産の所有、経営、管理および賃貸借
従業員数	連結：2,286名／単体：59名
事業所	<p>[本社] 〒530-0005 大阪市北区中之島3丁目6番32号 ダイビル本館 Tel:(06)6441-1932</p> <p>[大阪営業開発部] 同上 Tel:(06)6441-1936</p> <p>[東京営業開発部] 〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号 日比谷ダイビル Tel:(03)3506-7441</p> <p>[ベトナム駐在員事務所] ホーチミンオフィス Saigon Tower,29 Le Duan Boulevard, District 1, Ho Chi Minh City, Vietnam Tel : 84-8-3822-5350</p> <p>ハノイオフィス CornerStone Building,16 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam Tel : 84-4-3824-5777</p>

## 役員 (2016年6月28日現在)

取締役	代表取締役 会長	山本 竹彦
	代表取締役 社長執行役員	玉井 克実
	取締役 専務執行役員	成田 純一
	取締役 常務執行役員	矢田 豪男
	取締役(社外)	高松 明
	取締役(社外)	橋爪 紳也
	取締役	園部 俊行
監査役	常勤監査役	西口 美廣
	常勤監査役	戸塚 正次
	監査役(社外)	田中 宏
	監査役(社外)	安田 豊
執行役員	執行役員	田中 健輔
	執行役員	林 洋一
	執行役員	下川 浩志
	執行役員	井林 與市

## ダイビルグループの構成



## 株式の状況 (2016年3月31日現在)

発行可能株式総数 300,000,000株

発行済株式の総数 116,851,049株

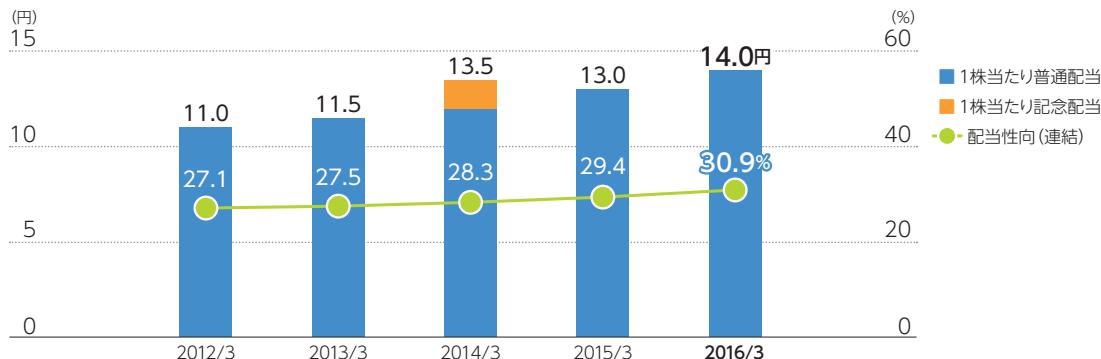
株主数 4,578名

大株主の状況 (上位10名)

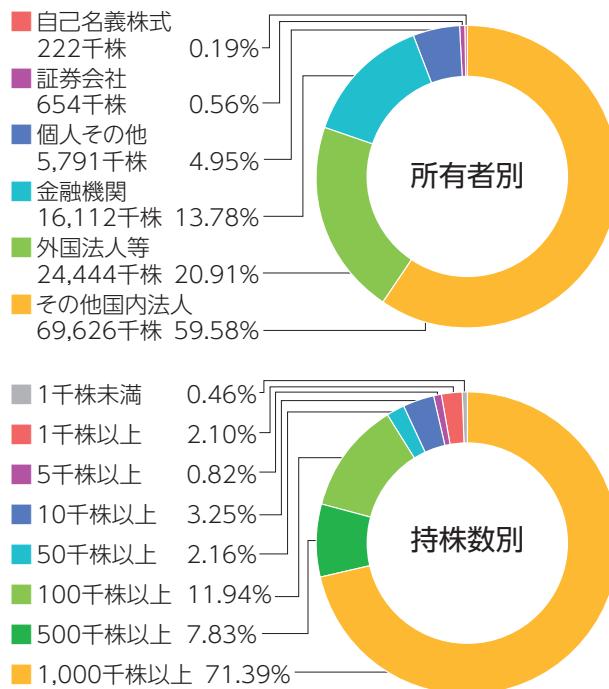
	株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
1	株式会社商船三井	59,527	50.94
2	株式会社三井住友銀行	5,802	4.96
3	BNP PARIBAS SEC SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/ABERDEEN GLOBAL CLIENT ASSETS	3,663	3.13
4	関西電力株式会社	2,953	2.52
5	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,821	2.41
6	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,485	1.27
7	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	1,402	1.20
8	RBC ISB S/A DUB NON RESIDENT/ TREATY RATE UCITS-CLIENTS ACCOUNT	1,275	1.09
9	CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	1,215	1.04
10	JP MORGAN CHASE BANK 385166	1,195	1.02

(注)株数は千株未満を、出資比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

## 配当の推移



## 株主分布状況 (2016年3月31日現在)



# 株式情報

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月中  
基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ  
公告して定めた日  
上場金融商品取引所 東京証券取引所 市場第一部  
証券コード 8806  
公告掲載方法 電子公告(当社のホームページに掲載)  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告に  
よる公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人  
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) フリーダイヤル 0120-782-031  
(インターネット  
ホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

## ホームページのご紹介

当社ホームページでは、事業内容やIR情報などの最新情報をご覧いただけます。



<http://www.daibiru.co.jp/>

ダイビル

検索

 **ダイビル株式会社**

**UD  
FONT**

  
Waterleaf<sup>TM</sup>  
Printing. Naturally.

  
VEGETABLE  
OIL INK

 ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC<sup>®</sup> C022915

この報告書は、見やすい書体を採用し、環境に配慮した印刷技術、インキおよび紙を用いて作成しました。